



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	77,046	7.2	5,744	9.3	5,557	10.3	3,531	7.7
2019年3月期第3四半期	71,896	4.6	5,254	0.1	5,040	1.3	3,278	7.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,331百万円 (△12.7%) 2019年3月期第3四半期 3,818百万円 (22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	37.07	—
2019年3月期第3四半期	34.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	123,626	64,084	51.7	670.95
2019年3月期	117,346	62,604	53.3	655.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 63,914百万円 2019年3月期 62,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,640	6.2	11,810	3.2	11,600	3.4	6,420	△10.3	67.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	95,452,914株	2019年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	192,575株	2019年3月期	191,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	95,260,956株	2019年3月期3Q	95,262,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善等を背景に個人消費が持ち直し、緩やかな回復基調で推移したものの、消費税率の増加に伴い、一時的な落ち込みが見られました。

他方、世界経済においては長期化する米中通商問題・EU離脱問題に加え中東地域の情勢等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本において、テレビコマーシャル等を用いて「ROUND1 LIVE」の周知・販売促進を行いました。また、武蔵村山店、習志野店、津・高茶屋店及び松山店の4店舗において改修工事を行い、スポッチャ併設店舗としてリニューアルオープンいたしました。

米国においては、営業基盤拡大の為、2019年10月にパークプレイス店(アリゾナ州)、同年11月にメドーズ店(ネバダ州)、フェアフィールドコモンス店(オハイオ州)、同年12月にタウソントウンセンター店(メリーランド州)、ファッションディストリクト店(ペンシルベニア州)を出店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高77,046百万円(前年同四半期比7.2%増)、営業利益5,744百万円(同9.3%増)、経常利益5,557百万円(同10.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,531百万円(同7.7%増)となりました。

また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

テレビコマーシャル等を用いて「ROUND1 LIVE」の周知・販売促進を行いました。また、武蔵村山店、習志野店、津・高茶屋店及び松山店の4店舗において改修工事を行い、スポッチャ併設店舗としてリニューアルオープンいたしました。アミューズメントにおいては、最新大型メダルゲーム機種「StarHorse4」及び最新音楽ゲーム機種「beatmania IIDX LIGHTNING MODEL」を導入いたしました。カラオケにおきましても、カラオケ最新機種である「LIVE DAM Ai」を導入いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比0.1%増、アミューズメントは同3.0%増、カラオケは同0.5%増、スポッチャは同1.8%増となりました。

(米国)

米国市場での認知度を向上する為、テレビコマーシャルによる販売促進を実施いたしました。また、営業時間の延長に伴い、深夜限定の料金プランを新たに導入いたしました。アミューズメントにおいては、米国全店において最新ゲーム機種を積極的に導入いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比30.6%増、アミューズメントは同37.6%増、カラオケは同27.6%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,279百万円増加の123,626百万円となりました。この要因は、未収入金が1,681百万円増加、現金及び預金が1,206百万円減少、前払費用が556百万円増加、貯蔵品が458百万円増加したこと等による流動資産の増加1,523百万円と、建物及び構築物(純額)が1,664百万円増加、アミューズメント機器(純額)が2,603百万円増加したこと等による固定資産の増加4,756百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,800百万円増加の59,541百万円となりました。この要因は、短期借入金が1,423百万円増加、リース債務が1,255百万円減少、未払法人税等が1,030百万円減少、その他流動負債が955百万円増加、1年内返済予定の社債が342百万円増加、未払金が295百万円増加したこと等による流動負債の増加755百万円と、長期未払金が2,033百万円増加、社債が832百万円増加、長期預り金が564百万円増加、長期借入金が418百万円増加したこと等による固定負債の増加4,045百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,479百万円増加の64,084百万円となりました。この要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,626百万円増加、為替換算調整勘定が199百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,524	21,318
売掛金	1,182	1,086
商品	429	486
貯蔵品	2,105	2,564
その他	2,429	4,740
流動資産合計	28,671	30,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,669	82,144
減価償却累計額	△38,121	△39,932
建物及び構築物(純額)	40,547	42,211
土地	5,736	5,736
リース資産	30,990	31,524
減価償却累計額	△12,968	△13,604
リース資産(純額)	18,021	17,920
その他	27,422	33,945
減価償却累計額	△17,822	△20,023
その他(純額)	9,600	13,921
有形固定資産合計	73,905	79,790
無形固定資産		
投資その他の資産	690	732
繰延税金資産	4,571	3,647
差入保証金	9,323	8,907
その他	182	352
投資その他の資産合計	14,078	12,907
固定資産合計	88,674	93,431
資産合計	117,346	123,626

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	350	361
短期借入金	1,441	2,865
1年内償還予定の社債	825	1,167
1年内返済予定の長期借入金	2,899	3,088
リース債務	9,497	8,241
未払法人税等	1,208	178
その他	8,865	9,939
流動負債合計	25,088	25,843
固定負債		
社債	1,675	2,507
長期借入金	6,675	7,094
リース債務	9,568	9,694
資産除去債務	6,099	6,104
その他	5,634	8,298
固定負債合計	29,653	33,698
負債合計	54,741	59,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	14,767	16,394
自己株式	△337	△339
株主資本合計	62,089	63,713
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	539	339
その他の包括利益累計額合計	400	200
新株予約権	114	169
非支配株主持分	-	0
純資産合計	62,604	64,084
負債純資産合計	117,346	123,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	71,896	77,046
売上原価	64,429	68,758
売上総利益	7,466	8,287
販売費及び一般管理費	2,212	2,543
営業利益	5,254	5,744
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	10
業務受託手数料	34	42
受取保険金	7	51
販売協力金収入	35	43
その他	96	75
営業外収益合計	188	222
営業外費用		
支払利息	346	359
持分法による投資損失	-	7
その他	56	42
営業外費用合計	402	409
経常利益	5,040	5,557
特別損失		
固定資産除却損	336	325
固定資産売却損	75	-
特別損失合計	411	325
税金等調整前四半期純利益	4,628	5,232
法人税、住民税及び事業税	478	707
法人税等調整額	871	993
法人税等合計	1,349	1,700
四半期純利益	3,278	3,531
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,278	3,531

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,278	3,531
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	539	△199
その他の包括利益合計	539	△199
四半期包括利益	3,818	3,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,818	3,331
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、ロシア連邦においてRound One Rus LLCを設立し、当第3四半期連結会計期間より、中華人民共和国において朗玩(中国)文化娛樂有限公司を設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、米国においてKiddleton, Inc.を設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	60,801	11,094	71,896	71,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	60,801	11,094	71,896	71,896
セグメント利益	4,517	522	5,040	5,040

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,058	14,987	77,046	—	77,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	62,058	14,987	77,046	—	77,046
セグメント利益又は損失(△)	5,316	326	5,643	△85	5,557

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. その他

(報告セグメントごとの売上高、利益の推移)

(単位：百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国
売上										
外部顧客への売上高	81,925	1,979	78,348	5,168	80,525	7,250	84,331	11,579	84,976	16,342
セグメント利益又は 損失(△)	6,278	△127	5,159	243	5,416	441	9,335	932	9,769	1,450

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、各連結会計年度の連結損益計算書の経常利益と一致しております。